

2. 全業種総合

生産・売上の状況

—業況判断DIは2期連続プラス台—

業況判断DIは+0.2と前期と比べ0.5ポイント後退したが、2期連続でプラス台となった。

業況判断DIを業種別にみると、前期と比べ製造業が好転、卸売業・不動産業が改善、建設業が後退、小売業・サービス業が悪化している。

生産・売上DIは+1.4と前期の△1.1と比べ2.5ポイント改善している。生産・売上DIを業種別に見ると、前期と比べ製造業・卸売業は好転、建設業・不動産業は改善、小売業・サービス業は悪化となっている。

在庫数量DIは△1.9と前期と比べ1.9ポイント減少となっている。

借入金DIは△9.9と前期と比べ3.8ポイント増加となっている。

資金繰りDIは△3.0と前期と比べ1.2ポイント悪化している。

設備投資の実施割合は、6.0%と前期とほぼ同水準を維持している。

経営上の問題点は、「売上・受注の停滞・減少」43.3%、「競争の激化」37.2%、「人手不足」29.9%、「工場・機械の老朽化」17.6%、「人件費の増加」13.4%の順となっている。

業	況			DI
	好転	変わらず	悪化	
29/4~6	13.8	73.1	13.1	0.7
29/7~9	15.1	70.0	14.9	0.2
29/10~12 (見通し)	16.3	73.1	10.6	5.7

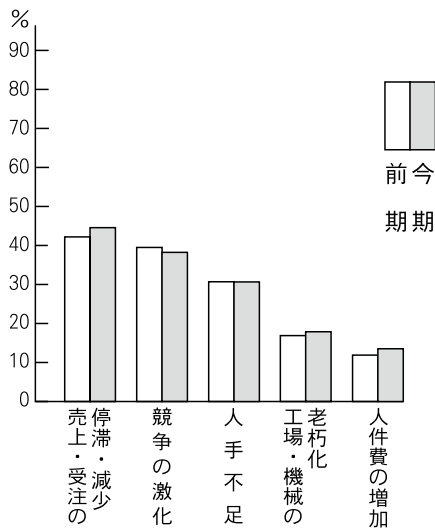
(単位：%)

生産・売上	況			DI
	増加	変わらず	減少	
29/4~6	15.6	67.7	16.7	△1.1
29/7~9	16.4	68.6	15.0	1.4
29/10~12 (見通し)	17.7	68.7	13.6	4.1

在庫数量	況			DI
	増加	変わらず	減少	
29/4~6	7.1	85.8	7.1	0.0
29/7~9	4.3	89.5	6.2	△1.9
29/10~12 (見通し)	5.4	89.4	5.2	0.2

借入金	況			DI
	増加	変わらず	減少	
29/4~6	5.9	74.5	19.6	△13.7
29/7~9	5.7	78.7	15.6	△9.9
29/10~12 (見通し)	3.8	80.9	15.3	△11.5

経営上の問題点



収益の状況

— 来期は改善を予測 —

今期の収益D Iは△4.0と前期と比べ1.7ポイント悪化した。

収益D Iを業種別に見ると、前期と比べ製造業は好転、卸売業は改善、小売業・サービス業・建設業・不動産業で悪化となっている。

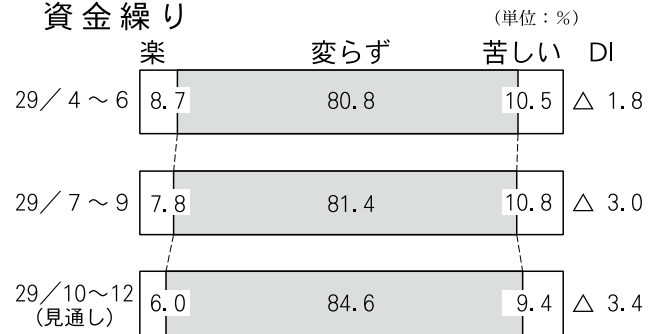
来期の収益D Iは△2.0と今期と比べ2.0ポイントの改善を予測している。

来期の見通し

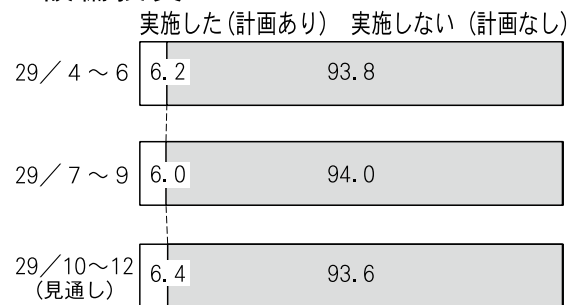
— 来期もプラス台を予測 —

来期の業況判断D Iは+5.7と今期と比べ5.5ポイントの好転、生産・売上D Iは+4.1と今期と比べ2.7ポイントの好転を予測している。

資金繰り



設備投資



収益

